

ーション会場などさまざまな利活用が図られ、ハチ公関連商品など新たな物産品の開発にも結び付いています。

今年(平成21年)は、ハチ公効果を追い風に「観光元年」ともいえるべき年となり、この流れを一過性にすることの無いよう、現在策定中の大館市観光基本計画の中に施策として位置付けていきます。

扇田地区米代川 河川緑地のプレオープン

扇田地区米代川河川緑地は、基盤施設の園路や広場、駐車場などが完成したため、11月8日にプレオープンしました。

この河川緑地は、19年度から国土交通省と本市が整備を進めてきたもので、住民の健康増進や地域のにぎわい創出のほか、米代川の防災対策の強化を目的としています。

今後は、市が担当するトイレ、ベンチなどの整備を本年度中に行い、完了後は、地元で構成する「比内米代川公園管理組合」と、国、市が協働で維持管理する計画です。

弘前大学専門医養成病院 ネットワークに関する協定の締結

11月17日、弘前大学大学院医学研究科と弘前大学医学部附属病院、市立総合病院の三者間で「弘前大学専門医養成病院ネットワークに関する協定」を締結しました。

このネットワークは、医師免許を取得して3年日以降の医師を対象に、専門医として認定を受けるための専門研修を弘前大学が自治体病院などと連携して行う

もので、地域循環型の医師養成体制を整備するものです。

弘前大学との間では、これまでも医師の派遣や医学部学生の実習、臨床研修医の受け入れなど、さまざまな分野で連携、協力をし、地域医療の発展と人材育成に努めてきましたので、連携がさらに強化されるものと思います。

また、若手や中堅医師の育成と、総合病院全体の医療の質的向上が図られることから、研修医には魅力ある病院となり、将来的には医師不足の解消にも寄与するものと考えています。

医養成病院ネットワークに関する



(仮称)秋田三鶏記念館の 建設進捗状況と運営方針

7月に建設工事に着手した(仮称)秋田三鶏記念館の建設事業は、進捗率が80%で来年1月末の完成に向け順調に進んでいます。

建設に当たっては、市民や関係団体から475万円の寄附があり、深く感謝します。現在、秋田三鶏のふ化・育雛は危機的

な状況にあり、記念館の完成後は「種の保存・継承」を第一とし、ふ化・育雛事業は専門的な知識を有する三鶏保存会にお願いして、これまで培った経験を存分に發揮してもらいたいと考えています。

また、観光振興としての位置付けも踏まえ、運営審議会を立ち上げて秋田三鶏の飼育や展示も行っています。

公共事業の進捗状況

道路関連では、地域活力基盤創造交付金事業の用地測量と補償調査がほぼ完了し、二井田片貝沼田線の橋の下部工、赤坂下比立内線の道路改良工事などは進捗率40%です。

舗装補修工事は、岩本線ほか25工区で進捗率は50%、扇田地区まちづくり事業は、市道改良工事や公園改修工事等が順調に進み、進捗率は繰り越し分も含め95%です。

桂城公園改修事業は、サークルベンチや桂城橋の改修工事等をしていて、11月に発注した小柄沢墓園拡張工事とともに年度内に完了の予定です。

教育関連では、学校耐震対策事業として比内中学校耐震補強工事を発注し、進捗率は80%で1月に完了の予定です。また、長根山陸上競技場第2種公認更新工事は9月に発注し、進捗率は80%です。

農業集落排水



事業は、独鈷中野地区で路面復旧工事、管路布設工事などが、進捗率60%です。

水道事業では、森合老朽管更新工事が98%、柄沢字狐台地内の配水管布設替工事が95%の進捗率です。

下水道事業は、田代地域の赤川、比内地域の下味増内、大館地域の清水一丁目、中道一丁目ほかで本管理設工事をし、進捗率は平均で55%です。

全国高等学校 総合体育大会に向けて

高校生のスポーツの祭典である全国高等学校総合体育大会が、平成23年度に秋田県・青森県・岩手県の3県合同で開催されます。

本市では、高館テニスコートで女子ソフトテニス競技が開催される予定で、参加規模は、団体48チーム、個人320組、人数にして選手780人、監督・コーチ270人、合計1050人の見込みです。

市では11月19日に実行委員会を設立し、今後、専門委員会や実施本部などを組織して、大会の成功に向け準備を進めていきます。

そのほかの報告

- ・敬老事業
- ・第1回学校緑化事業の実施
- ・秋まつり行事等
- ・「NOSHOGU HACHI」及び「御成町二丁目コミュニティサロン」のオープン
- ・秋田県北部男女共同参画センターの移転